

議事録（概要）

会議名	令和元年度第2回地域包括ケア推進委員会					
会場	芦屋町役場4階41会議室					
日時	令和2年2月7日（金） 10:00～11:30					
委員の出欠	委員長	中村 貴志	出	委員	末武 司郎	出
	副委員長	片山 和夫	出	委員	松尾 シズ子	出
	委員	白石 英也	出	委員	占部 吉郎	出
	委員	渡邊 秀樹	出	委員	中西 智昭	出
	委員	吉田 まり子	出	委員	川上 誠一	出
	委員	岳藤 さおり	出	委員	安部 知彦	欠
	委員	櫻井 俊弘	出			
	委員	大古 久美	欠			
件名・議事	<p><b>諮問</b></p> <p>1 芦屋町高齢者福祉計画について</p> <p><b>議事</b></p> <p>1 第8期芦屋町高齢者福祉計画の策定方針等について</p> <p>2 第8期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について</p> <p><b>その他</b></p> <p><b>報告</b></p> <p>1 「老人憩の家」の見直しに関するアンケート調査について</p>					
合意事項 決定事項	<p>1 第8期芦屋町高齢者福祉計画の策定方針等について</p> <p>・報告、了承された。</p> <p>2 第8期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について</p> <p>・委員から、アンケート内容を一部修正するよう意見が出されたため、事務局において必要な修正を行い、修正内容の確認については委員長・事務局一任となった。</p> <p>3 「老人憩の家」の見直しに関するアンケート調査について</p> <p>・報告、了承された。</p>					

# 令和元年度第2回地域包括ケア推進委員会 議事録

## ○日時

令和2年2月7日(金)10:00～11:30

## ○場所

芦屋町役場4階 41会議室

## ○諮問

次期(第8期)芦屋町高齢者福祉計画の策定に関する諮問書が、芦屋町長(代理:中西副町長)から、芦屋町地域包括ケア推進委員会 中村委員長に交付された。

## ○協議事項

- 1 第8期芦屋町高齢者福祉計画の策定方針等について
- 2 第8期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民のアンケート調査について
- 3 その他

## 議事1 第8期芦屋町高齢者福祉計画の策定方針等について

### ●事務局から【資料1】「第8期芦屋町高齢者福祉計画策定方針について」等に基づき説明。

### ●審議

#### (委員)

- ・芦屋町で、保険者機能強化推進交付金を使用した事業は実際あるのか。
- ・福岡県介護保険広域連合(以下、「広域連合」という。)の予算組みの時点で、こういったことに使いたいという計画を持っておかないと間に合わないと思う。令和2年度、芦屋町としてはどのように考えているのか。
- ・国の社会保障審議会の検討内容では、介護保険制度における補給給付を引き下げることである。ケアプラン作成等の有料化、軽度の生活援助サービスについても今後検討することだが、負担が上がると高齢者、要介護者は大変である。制度の持続可能性も大事だが、そういった点も踏まえて制度を議論するべきではないか。

#### (事務局)

- ・芦屋町の場合、保険者機能強化推進交付金は広域連合から配分を受けることになる。過去十分には活用できておらず、使用できなかった分は広域連合の基金に繰り入れられ、保険料低減などのための原資となる。今後の活用方法について検討していきたい。
- ・令和2年度については、人件費への充当などは考えているが、交付金を活用した新事

業についてはまだ検討段階である。

- ・介護保険の制度面については、広域連合の介護保険事業計画の策定過程で審議される  
ところであり、町が策定する高齢者福祉計画はそれ以外をカバーしたいと考える。

高齢者が、健康でいつまで過ごせるかを考えることが重要であって、生活支援体制を含め、いつまでも自宅で生活できる環境を整えることが町の責務であると考えている。

#### **(委員長)**

- ・高齢者福祉計画策定にあたり、介護保険制度の見直し等をうけながら、芦屋町として力を入れていきたい箇所を伺いたい。

#### **(事務局)**

- ・まずは、国が新しく大綱を打ち出した認知症施策について取り組みを強化したいと考えている。また、高齢者の通いの場の充実など、社会との接点づくりについても重点的に取り組んでいく必要があるものと考えている。

### **議事 2 第 8 期芦屋町高齢者福祉計画策定のための住民アンケート調査について**

#### **●事務局から【資料 2】高齢者福祉計画策定に係る住民アンケート調査等の概要（案）に基づき説明。**

#### **●審議**

##### **(委員)**

- ・全体的に難しい印象を覚えた。P3 問 10 運動・転倒防止に関することについてだが、個人的な設備（家の手すりなど）も関係すると思う。バリアフリーにするにあたり、町がどんな支援をしてくれるかなど具体的な部分を教えてほしい。

- ・P4 問 12 最後まで自宅で療養したいと思うが、結果的には病院で過ごすことになることを考えると別の選択肢を選ばなければならなくなるなど、深く考えれば考えるほど選択が難しいのではないか。

- ・P5 問 15 個人としての回答でいいのかわかりにくい。誰の考えを問うているのか明確にした方がよいのではないか。自分のことについて聞かれているのか、わからない。

##### **(事務局)**

- ・問 10 に関して、回答者ご本人の身体状況を維持改善するために、町が開催する教室や講座などの内容についてのニーズを問う設問としているが、伝わりにくかったとのことなので設問の見直しを行う。

- ・問 12 に関して、希望通りにならないと考える人がいる場合、町としてどう取り組んで改善していきけるかを考えるためのアンケート。思ったままに答えていただくことを想定している。

- ・問 15 について、設問の意図が伝わりにくかったとのことなので設問の文章を見直したい。

**(委員)**

・P4 問 12 悪性腫瘍の終末医療などを想定された設問だと思うが、芦屋中央病院では、在宅医療の入り口としての緩和ケア病棟を設置するなどしている。在宅医療はこれからの医療を考えるうえで非常に大切になってくる。

何かあったときだけ医師が訪問する往診と、計画的な診療スケジュールに基づく訪問診療との違いも知らない人が多い。

訪問リハビリ、訪問診療などの認知度を問う項目を加えるなど、もっと実情を調べていただくと、病院側の問題改善にも繋がるため検討していただければと思う。

**(事務局)**

・この場での結論は難しい。質問項目が増えると負担にもなってしまうため、例えばコラム形式で在宅医療の重要性を周知するなどの対応策を検討させていただきたい。

**(委員)**

・P5 問 16 前回のアンケート調査でも課題になった点。住民が、地域交流サロンや自治区体操教室についてどれくらい知っているかなどの設問があるとよいのではないかと。

**(事務局)**

・通いの場合は行政が関与する地域交流サロンなどだけでなく、個人でやられている行政で把握できていない集まりもある。これらを含めて定期的に社会参加しているか否かを問う設問としているので、こういった集まりを知っているかというのは狙いが少し違う。

**(委員)**

・介護保険料の負担をどれくらい感じているかなどの設問を入れてみてはどうか。実体的な数字が知れると今後の分析や参考になると思う。

**(事務局)**

・芦屋町は広域連合に加入しており、単独で保険料を決定することはできない。介護保険料の負担感などを問うアンケートは広域連合で行われており、そちらに委ねたいと思っている。

**(委員長)**

・P8 問 23 家族に迷惑をかけることが不安、などの項目が他の市町村では多い。入れてみてはどうか。

**(事務局)**

・検討を行う。

**(委員長)**

・発送までの期間が短く再度の会議開催も厳しいので、修正したものは私と事務局で協議の上、最終的に決定させていただければと思うが、一任いただくということでよろしいか。

**(委員)**

・異議なし。

**その他**

**報告1 「老人憩の家」の見直しに関するアンケート調査について**

●事務局から、「老人憩の家」の見直しに関する住民アンケート調査の実施について説明、報告。

**(委員長)**

・特にご意見等無ければ、次回の委員会のスケジュール確認をお願いしたい。

**(事務局)**

・次回の会議については、6月頃の開催を考えている。

**(委員長)**

それでは、以上で本日の会議を閉会としたい。

以上